

子どもたちが主人公の学びの「新しい当たり前」を創るため、学校改革、教員の処遇改善と業務削減、地域や関係者との連携などを一体的に推進します。

( ) 内の金額は令和7年度当初予算案額、No. は部局別主要事業の掲載番号

## I 学校の改革

### <<一人ひとりに合った学びを実践する学校づくり>>

- ◆(新) 子どもたち一人ひとりが「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求する**ウェルビーイング実践校TOCO-TON (トコトン)**に取り組む学校、市町村を支援  
(652万8千円、人件費の一部 教委No.1)
- ◆(新) **オンライン授業**に取り組む**中山間地域小規模校**を支援するため、アドバイザーによる指導・助言等を実施  
(100万5千円 教委No.2)

### <<県立高校の特色化・魅力化の推進>>

- ◆(新) 各校の**特色化の方向性を踏まえた外部人材の活用検討**や、**生徒による企画提案事業**等を実施  
(6089万4千円 教委No.6)
- ◆(新) 生徒の参画による**ホームページのリニューアル**や**中学生向け説明会**を行い、高校の情報発信を強化・充実  
(8292万2千円 教委No.5、7)
- ◆(新) 市町村立寮の運営費補助や広報の強化など、**全国募集**の取組を拡大し、多様な他者を尊重し協働できる生徒・若者を養成  
(4848万7千円 教委No.9)
- ◆(拡) 地域在住の外国人材の活用等により**ALT (外国語指導助手)**を増員し、高校生の英語コミュニケーション力を強化  
(2億5521万6千円 教委No.3)
- ◆(拡) 県企画留学プログラムの提供等による**留学支援**や、**サマースクール**の開催支援により、**グローバル人材の育成**を推進  
(6104万4千円 教委No.19)
- ◆(拡) 学校と社会をつなぐ**連携コーディネーターの配置**を拡充するとともに、**地域産業・企業を知るための職業体験等**の取組を推進  
(2337万3千円 教委No.8、1759万7千円 産労No.21)

## II 多様な学びの場の創出と子どもたちの心の支援

- ◆(拡) 「**信州型フリースクール**」に対する**運営費補助**を拡充するほか、学校等との連携を強化する**推進員**を増員  
(1億2150万1千円 県文No.26)
- ◆(新) 市町村が中学校の校内教育支援センターに配置する**支援員**に要する経費の一部を支援  
(1420万円 教委No.20)
- ◆(拡) **スクールカウンセラー**及び**スクールソーシャルワーカー**の相談・支援体制を拡充し、**児童生徒の不安や悩みへの対応**を充実  
(3億6675万8千円 教委No.23)

## III 教員の勤務環境の改善

- ◆(拡) 子どもの学びの継続と教員の負担軽減を図るため、**年度途中の欠員に対応する教職員の配置**や**産育休代替教職員の前倒し配置**を拡充  
(人件費の一部 教委No.10、11)
- ◆(拡) 中山間地校に勤務する教員を支援するため、**へき地手当**の支給率を近隣県水準に上げるとともに、**へき地手当に準ずる手当 (任地居住者への手当)**を**全国を超える水準**に上げ  
(人件費の一部)
- ◆(新) 高校の入学選抜に**インターネット出願システム**及び**オンライン決済**を導入し、志願者の利便性向上と教員業務の削減を推進するとともに、**事務作業効率の担保・向上のため、県立高校の教員にパソコン用モニターを配備**  
(1億2626万1千円 教委No.14、15)

## IV 子どもを支える連携・協働の推進

- ◆(拡) 中学生期の**スポーツ・文化芸術活動の機会**を地域全体で確保するため、**地域クラブ活動の持続可能な運営**に向けた体制整備や指導者の確保を推進  
(2億39万7千円 教委No.25)
- ◆ 学びの「新しい当たり前」を共に創るため、**信州学び円卓会議**において、様々な主体の**連携・協働**を促進  
(455万円 県文No.24)